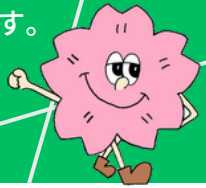


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

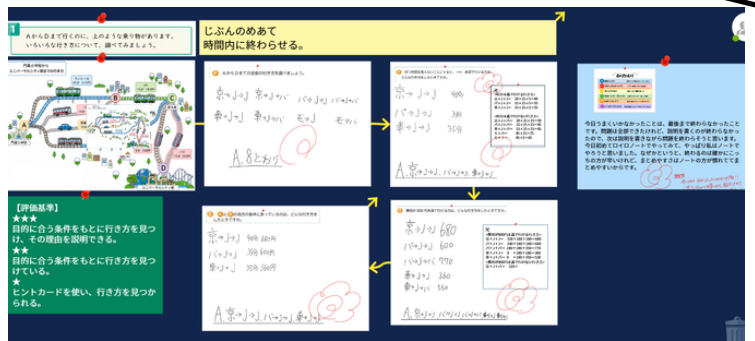
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



6年生 算数

授業の様子（自己調整学習）

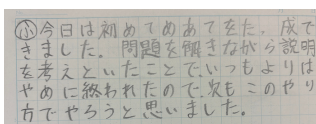
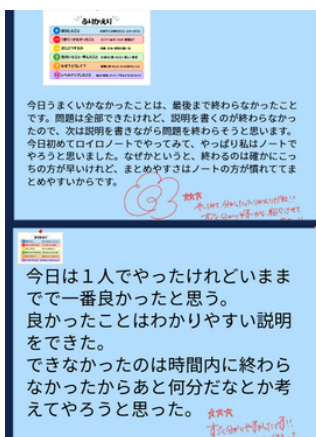
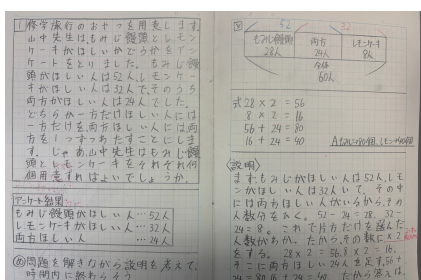
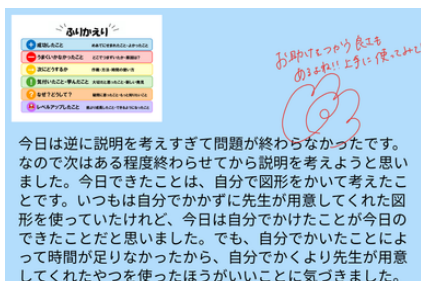
授業のはじめに、めあてと評価基準、問題を確認し、その後は一人ひとりが自分のペースで学習を進めています。誰と学ぶかや、どのように考えを整理するかも自分で選びながら取り組み、困ったときは友だちと相談したり、自分で考えたりしながら主体的に学習を進めています！



ふりかえりで次の学びへ

毎時間の終わりには、自分の学習を振り返り、次の時間のめあてにつなげています。「時間内に終わらなかった」と振り返った人は、次の時間に「時間内に終わらせる」をめあてに設定し、それを達成すると「余った時間で説明をもっと丁寧に書く」という新たな目標へ。振り返りが次の学習をよりよくする力になっていました。

すてきな姿



1組・2組の振り返りを、紹介し合う時間を設けています。「こんな書き方もあるんだ」と互いの考えを参考にすることで、振り返りの内容が少しずつ深まっていました。「できた・できなかった」だけで終わらず、「次はこうしたい」という具体的な一歩につながる振り返りを書く子が増え、学習を自分でよりよくしようとする姿がとてすてきです。

